

令和8年6月

各 位

兵庫県信用組合

「貸金庫規定」改正のお知らせ

平素は、当組合をご利用いただき誠にありがとうございます。

このたび、金融機関による貸金庫業務の適正化を図るため、金融庁の「中小・地域金融機関向けの監督指針」が改正されたことを受け、下記のとおり「貸金庫規定」を一部改正しましたのでお知らせいたします。

なお、改正後の規定はすでにお取引いただいているお客さまにも適用されますので、ご了承いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 改正する規定

貸金庫規定

2. 改正日

令和8年8月31日

3. 主な改正内容

- (1) 貸金庫に格納いただけないものに「現金その他のマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点からリスクが高いと考えられるもの」を追加いたします。
- (2) 貸金庫の利用にかかる表明・確約を書面等でご申告をいただくことを追加いたします。

4. ご留意点

現在ご利用中の貸金庫に「現金」を格納されているお客さまにおかれましては、次回のご来店時に「現金」をお取出しいただきますようお願いいたします。

以上

貸金庫規定 新旧対照表

新 (改正後)	旧 (改正前)
<p>1. (格納品の範囲) (1) ~ (2) (省略) <u>(3) 貸金庫には、次に掲げるものを格納することができません。</u> <u>① 現金その他のマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点からリスクが高いと考えられるもの</u> <u>② 危険物や変質、腐敗のおそれがある等、貸金庫の通常の用法による保管に適さないもの</u></p> <p>2. (利用目的の確認) <u>(1) 貸金庫の契約の締結または利用等に当たっては、ご契約者 (以下、「借主」といいます。) は、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点から、格納品が前項1. に定める範囲を逸脱することがないかといった表明・確約を、書面その他当組合の定める方法で申出を行うこととします。</u> <u>(2) 貸金庫が、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等、不正利用されることを防ぐため、貸金庫内外でのカメラ撮影や利用時の職員立会い等の適切な方法で貸金庫の利用状況を確認させていただく場合があります。</u></p> <p>3. (契約期間等) この契約の当初契約期間は、契約日から最初に到来する3月末日までとし、契約期間満了日までに借主または当組合から解約の申出をしないかぎり、この契約は期間満了日の翌日から1年間継続されるものとし、継続後も同様とします。</p> <p>4. (使用料) (省略)</p> <p>5. (鍵、貸金庫カードの保管) <u>(1) 貸金庫に付属する鍵正副2個のうち、正鍵は借主が保管し、副鍵は当組合立会いのうえ借主が届出の印章により封印し、当組合が保管します。なお、正鍵の複製はできません。</u> <u>(2) 全自動貸金庫の場合は、借主および借主があらかじめ届出た代理人 (以下、「代理人」という。) に貸金庫カード (以下、「カード」</u></p>	<p>1. (格納品の範囲) (1) ~ (2) (省略)</p> <p>(新設)</p> <p>2. (契約期間等) この契約の当初契約期間は、契約日から最初に到来する3月末日までとし、契約期間満了日までに<u>ご契約者 (以下、「借主」といいます。)</u> または当組合から解約の申出をしないかぎり、この契約は期間満了日の翌日から1年間継続されるものとし、継続後も同様とします。</p> <p>3. (使用料) (省略)</p> <p>4. (鍵の保管) 貸金庫に付属する鍵正副2個のうち、正鍵は借主が保管し、副鍵は当組合立会いのうえ借主が届出の印章により封印し、当組合が保管します。</p> <p>(新設)</p>

という。)を発行しますので、借主および代理人が保管してください。

また、届出の暗証は他の人に知られないよう管理してください。なお、代理人のカードによる貸金庫の使用についても、この規定を適用します。

6. (貸金庫の開閉等) (省略)

7. (届出事項の変更等)

(1) ~ (2) (省略)

(3) 貸金庫の契約の際には、法令で定める本人確認等の確認を行います。この確認事項に変更があったときは、ただちに当組合所定の方法により届出てください。

8. (成年後見人等の届出) (省略)

9. (印章、鍵等の喪失時等の取扱い) (省略)

10. (印鑑照合等) (省略)

11. (損害の負担等) (省略)

12. (反社会的勢力との取引拒絶)

この貸金庫は、後記**14.** (3) ①、②アからオおよび③アからオのいずれにも該当しない場合に使用することができ、後記**14.** (3) ①、②アからオまたは③アからオの一つにでも該当する場合には、当組合はこの貸金庫の使用申込みをお断りするものとします。

13. (取引の制限等) (省略)

14. (解約等)

(1) この契約は、借主の申出によりいつでも解約することができます。この場合、正鍵および届出の印章を持参し、当組合所定の手続きをしたうえ貸金庫をただちに明渡してください。なお、正鍵または届出の印章を失った場合に解約するときは、このほか前記**9.** に準じて取扱います。

全自動貸金庫の場合は上記に加えて貸金庫カードも持参してください。貸金庫カードを失った場合に解約するときも、このほか前記**9.** に準じて取扱います。

(2) 次の各号の一つにでも該当した場合には、当組合はいつでもこの契約を解約することができるものとします。この場合、当組合からの解約の通知があったときは、ただちに前項と同様の手続きをしたうえ貸金庫を明渡

(新設)

5. (貸金庫の開閉等) (省略)

6. (届出事項の変更等)

(1) ~ (2) (省略)

(新設)

7. (成年後見人等の届出) (省略)

8. (印章、鍵等の喪失時等の取扱い) (省略)

9. (印鑑照合等) (省略)

10. (損害の負担等) (省略)

11. (反社会的勢力との取引拒絶)

この貸金庫は、後記**13.** (3) ①、②アからオおよび③アからオのいずれにも該当しない場合に使用することができ、後記**13.** (3) ①、②アからオまたは③アからオの一つにでも該当する場合には、当組合はこの貸金庫の使用申込みをお断りするものとします。

12. (取引の制限等) (省略)

13. (解約等)

(1) この契約は、借主の申出によりいつでも解約することができます。この場合、正鍵および届出の印章を持参し、当組合所定の手続きをしたうえ貸金庫をただちに明渡してください。なお、正鍵または届出の印章を失った場合に解約するときは、このほか前記**8.** に準じて取扱います。

全自動貸金庫の場合は上記に加えて貸金庫カードも持参してください。貸金庫カードを失った場合に解約するときも、このほか前記**8.** に準じて取扱います。

(2) 次の各号の一つにでも該当した場合には、当組合はいつでもこの契約を解約することができるものとします。この場合、当組合からの解約の通知があったときは、ただちに前項と同様の手続きをしたうえ貸金庫を明渡

してください。前記3.により契約期間が満了し、契約が更新されないときも同様とします。

①～⑤ (省略)

⑥ 借主名義人が存在しないことが明らかになったときまたは借主名義人の意思によらず契約、使用されたことが明らかになったとき

⑦ 本邦または外国の法令・規制や公序良俗に反する行為に利用され、またはそのおそれがあると認められるとき

⑧ 法令で定める本人確認等における確認事項や前項2.に定める利用目的の申出内容に偽りがあるとき

⑨ マネー・ロンダリング、テロ資金供与、不正な目的で利用され、またはそのおそれがあると当組合が認め、マネー・ロンダリング等防止の観点で解約が必要と当組合が判断したとき

(3) 前記1 4. (2)のほか、次の各号の一つにでも該当し、借主との取引を継続することが不適切である場合には、当組合はこの貸金庫の利用を停止し、または借主に通知することによりこの契約を解約することができるものとします。

この場合、当組合から解約の通知があったときは、ただちに前記1 4. (1)と同様の手続きをしたうえで貸金庫を明渡してください。

なお、この解約によって生じた損害については、当組合は責任を負いません。

また、この解約により当組合に損害が生じたときは、その損害額を支払ってください。

①～③ (省略)

(削除)

(4) 前記1 4. (3)の明渡しが遅延したときは、遅延損害金として解約日または契約期間の満了日の属する月の翌月から明渡しの日属する月までの使用料相当額を月割計算により支払ってください。この場合、前記4.

してください。前記2.により契約期間が満了し、契約が更新されないときも同様とします。

①～⑤ (省略)

(新設)

(3) 前記1 3. (1) (2)のほか、次の各号の一つにでも該当し、借主との取引を継続することが不適切である場合には、当組合はこの貸金庫の利用を停止し、または借主に通知することによりこの契約を解約することができるものとします。

この場合、当組合から解約の通知があったときは、ただちに前記1 3. (1)と同様の手続きをしたうえで貸金庫を明渡してください。

なお、この解約によって生じた損害については、当組合は責任を負いません。

また、この解約により当組合に損害が生じたときは、その損害額を支払ってください。

①～③ (省略)

④ この貸金庫がマネー・ロンダリング、テロ資金供与、経済制裁関係法令等に抵触する取引に利用され、またはそのおそれがあると合理的に認められる場合

(4) 前記1 3. (3)の明渡しが遅延したときは、遅延損害金として解約日または契約期間の満了日の属する月の翌月から明渡しの日属する月までの使用料相当額を月割計算により支払ってください。この場合、前記3.

<p>(3)に基づく返戻金は、遅延損害金に充当します。不足額が生じたときはただちに支払ってください。なお、当組合はこの不足額を明渡しの日以前記4.(1)の方法に準じて自動引落しすることができるものとします。</p> <p>(5)前記14.(1)から(3)の明渡しが3ヵ月以上遅延したときは、当組合は副鍵を使用して貸金庫を開函のうえ、格納品を別途管理もしくは一般に適当と認められる方法、時期、価格等により処分し、また処分が困難な場合には廃棄することができるものとします。なお、当組合は貸金庫の開函に際して公証人等に立会いを求めることができるものとします。これらに要する費用は借主の負担とします。</p> <p>(6)使用料、遅延損害金その他借主が負担すべき費用が支払われないときは、前記14.(5)の処分代金をこれに充当することができるものとします。この場合、不足額が生じたときは、当組合からの請求がありしだい支払ってください。</p> <p><u>15.</u> (貸金庫の修繕、移転等) (省略)</p> <p><u>16.</u> (緊急措置) (省略)</p> <p><u>17.</u> (譲渡、転貸等の禁止) (省略)</p> <p><u>18.</u> (保証人) (省略)</p> <p><u>19.</u> (規定の変更) (省略)</p> <p style="text-align: right;">以 上</p> <p style="text-align: center;"><u>令和8年8月31日改正</u></p>	<p>(3)に基づく返戻金は、遅延損害金に充当します。不足額が生じたときはただちに支払ってください。なお、当組合はこの不足額を明渡しの日以前記3.(1)の方法に準じて自動引落しすることができるものとします。</p> <p>(5)前記13.(1)から(3)の明渡しが3ヵ月以上遅延したときは、当組合は副鍵を使用して貸金庫を開函のうえ、格納品を別途管理もしくは一般に適当と認められる方法、時期、価格等により処分し、また処分が困難な場合には廃棄することができるものとします。なお、当組合は貸金庫の開函に際して公証人等に立会いを求めることができるものとします。これらに要する費用は借主の負担とします。</p> <p>(6)使用料、遅延損害金その他借主が負担すべき費用が支払われないときは、前記13.(5)の処分代金をこれに充当することができるものとします。この場合、不足額が生じたときは、当組合からの請求がありしだい支払ってください。</p> <p><u>14.</u> (貸金庫の修繕、移転等) (省略)</p> <p><u>15.</u> (緊急措置) (省略)</p> <p><u>16.</u> (譲渡、転貸等の禁止) (省略)</p> <p><u>17.</u> (保証人) (省略)</p> <p><u>18.</u> (規定の変更) (省略)</p> <p style="text-align: right;">以 上</p> <p style="text-align: center;"><u>(挿入)</u></p>
--	---

貸金庫規定

1. (格納品の範囲)

- 貸金庫には、次に掲げるものを格納することができます。
 - 公社債券、株券その他の有価証券
 - 預金通帳・証書、契約証書、権利書その他の重要書類
 - 貴金属、宝石その他の貴重品
 - 前各号に掲げるものに準ずると認められるもの
- 兵庫県信用組合（以下、「当組合」といいます。）は前項各号に掲げるものについても、相当の理由があるときは格納をおことわりすることがあります。
- 貸金庫には、次に掲げるものを格納することができません。
 - 現金その他のマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点からリスクが高いと考えられるもの
 - 危険物や変質、腐敗のおそれがある等、貸金庫の通常の用法による保管に適さないもの

2. (利用目的の確認)

- 貸金庫の契約の締結または利用等にあたっては、ご契約者（以下、「借主」といいます。）は、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点から、格納品が前項1. に定める範囲を逸脱することがないかといった表明・確約を、書面その他当組合の定める方法で申出を行うこととします。
- 貸金庫が、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等、不正利用されることを防ぐため、貸金庫内外でのカメラ撮影や利用時の職員立会い等の適切な方法で貸金庫の利用状況を確認させていただく場合があります。

3. (契約期間等)

この契約の当初契約期間は、契約日から最初に到来する3月末日までとし、契約期間満了日までに借主または当組合から解約の申出をしないかぎり、この契約は期間満了日の翌日から1年間継続されるものとします。継続後も同様とします。

4. (使用料)

- 貸金庫の使用料は、当組合所定の料金により1年分を前払いするものとし、毎年4月の当組合所定の日に、借主が指定した預金口座から払戻しのうえ使用料に充当します。
なお、当初契約期間の使用料は、契約時に契約日の属する月を1ヵ月としてその月から月割計算により支払ってください。
- 使用料は諸般の情勢により変更することがあります。変更後の使用料は、変更日以後最初に継続される契約期間から適用します。
- 契約期間中に解約があった場合は、解約日の属する月の翌月から期間満了日までの使用料を月割計算により返戻します。

5. (鍵、貸金庫カードの保管)

- 貸金庫に付属する鍵正副2個のうち、正鍵は借主が保管し、副鍵は当組合立会いのうえ借主が届出の印鑑により封印し、当組合が保管します。なお、正鍵の複製はできません。
- 全自動貸金庫の場合は、借主および借主があらかじめ届出た代理人（以下、「代理人」という。）に貸金庫カード（以下、「カード」という。）を発行しますので、借主および代理人が保管してください。
また、届出の暗証は他の人に知られないよう管理してください。なお、代理人のカードによる貸金庫の使用についても、この規定を適用します。

6. (貸金庫の開閉等)

- 貸金庫の開閉は、借主または借主があらかじめ届出た代理人が正鍵を使用して行ってください。
- 開函にあたっては、当組合所定の貸金庫開函依頼書に届出の記名・印鑑により押し印し提出してください。
また、開函後は貸金庫の施錠を確認してください。なお、全自動貸金庫の場合は、上記手続きにかえてカードにより、暗証番号・生体認証と正鍵を使用し開函してください。
- 格納品の出し入れは、当組合所定の場所で行ってください。

7. (届出事項の変更等)

- 印鑑を失ったとき、または印鑑、名称、代表者、代理人、住所その他の届出事項に変更があったときは、ただちに書面によって届出てください。この届出の前に生じた損害については、当組合は責任を負いません。正鍵を失ったとき、もしくは毀損したときも同様とします。全自動貸金庫の場合で、カードを失ったとき、もしくは毀損したときも同様とします。
- 届出のあった名称、住所にあてて当組合が通知または送付書類を発送した場合には、延着または到達しなかったときでも通常到達すべきときに到達したものとみなします。
- 貸金庫の契約の際には、法令で定める本人確認等の確認を行います。この確認事項に変更があったときは、ただちに当組合所定の方法により届出てください。

8. (成年後見人等の届出)

- 家庭裁判所の審判により、補助・保佐・後見が開始された場合には、ただちに成年後見人等の氏名その他必要な事項を書面によって届出てください。借主の成年後見人等について、家庭裁判所の審判により、補助・保佐・後見が開始された場合も同様にお届けください。
- 家庭裁判所の審判により、任意後見監督人の選任がされた場合には、ただちに任意後見人の氏名その他必要な事項を書面によって届出てください。
- すでに補助・保佐・後見開始の審判を受けている場合、または任意後見監督人の選任がされている場合にも、前記（1）、（2）と同様に届出てください。
- 前記（1）～（3）の届出事項に取消または変更等が生じた場合にも同様に届出てください。
- 前記（1）～（4）の届出の前に生じた損害については、当組合は責任を負いません。

9. (印鑑、鍵等の喪失時等の取扱い)

- 印鑑もしくは正鍵（全自動貸金庫の場合はカードもしくは正鍵）を失った場合の貸金庫の開閉は、当組合所定の手続きをした後に行ってください。この場合、相当の期間をおき、また保証人を求めることがあります。
- 正鍵を失った場合または毀損した場合は、錠前等の取替えに要する費用を支払ってください。
なお、当組合が貸金庫の変更を求めたときは、ただちにこれに応じてください。全自動貸金庫の場合で、カードを失った場合または毀損した場合は再発行にかかる費用を支払ってください。

10. (印鑑照合等)

貸金庫開函依頼書、諸届その他の貸金庫取引に関する書類に使用された印影を届出の印鑑と相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて開函その他の取扱いをしましたうえば、それらの書類につき偽造、変造その他の事故があってもそのために生じた損害については、当組合は責任を負いません。
なお、使用される鍵について当組合は確認する義務を負いません。全自動貸金庫の場合で、使用されたカードが、当組合が借主に交付したカードであること、および入力された暗証と届出の暗証とが一致することを当組合所定の方法により確認しましたうえば、偽造、変造その他の事故があってもそのために生じた損害については、当組合は責任を負いません。

11. (損害の負担等)

- 災害、事変その他の不可抗力の事由または当組合の責めによらない事由により、貸金庫設備の故障等が発生した場合には、貸金庫の開函に応じられないことがあります。このため生じた損害について当組合は責任を負いません。
- 前項の事由による格納品の紛失、滅失、毀損、変質等の損害についても当組合は責任を負いません。
- 借主もしくは代理人の責めに帰すべき事由または格納品の変質等により、当組合または第三者が損害を受けたときは、その損害を賠償してください。

12. (反社会的勢力との取引拒絶)

この貸金庫は、後記14.（3）①、②アからオおよび③アからオのいずれにも該当しない場合に使用することができ、後記14.（3）①、②アからオまたは③アからオの一つにでも該当する場合には、当組合はこの貸金庫の使用申込みをお断りするものとします。

13. (取引の制限等)

- 当組合は、借主の情報および具体的な取引の内容等を適切に把握するため、提出期限を指定して各種確認や資料の提出を求めることがあります。借主から正当な理由なく指定した期限までに回答いただけない場合には、使用等の本規定にもとづく取引の一部を制限する場合があります。

(2) 前項の各種確認や資料の提出の求めに対する借主の回答、具体的な取引の内容、借主の説明内容およびその他の事情を考慮して、当組合がマネー・ローンダリング、テロ資金供与、もしくは経済制裁関係法令等への抵触のおそれがあると判断した場合には、使用等の本規定にもとづく取引の一部を制限する場合があります。

(3) 前2項に定めるいずれの取引の制限についても、借主からの説明等にもとづき、マネー・ローンダリング、テロ資金供与、または経済制裁関係法令等への抵触のおそれが合理的に解消されたと当組合が認める場合、当組合は当該取引の制限を解除します。

14. (解約等)

(1) この契約は、借主の申出によりいつでも解約することができます。この場合、正鍵および届出の印鑑を持参し、当組合所定の手続きをしたうえ貸金庫をただちに明渡してください。

なお、正鍵または届出の印鑑を失った場合に解約するときは、このほか前記9. に準じて取扱います。

全自動貸金庫の場合は上記に加えてカードも持参してください。カードを失った場合に解約するときは、このほか前記9. に準じて取扱います。

(2) 次の各号の一つにでも該当した場合には、当組合はいつでもこの契約を解約することができるものとします。この場合、当組合からの解約の通知があったときは、ただちに前項と同様の手続きをしたうえ貸金庫を明渡してください。前記3. により契約期間が満了し、契約が更新されないときも同様とします。

- ① 借主が使用料を支払わないとき
- ② 借主について相続の開始があったとき
- ③ 借主もしくは代理人の責めに帰すべき事由または格納品の変質等により、当組合もしくは第三者に損害を与えまたはそのおそれがあると認められる相当の事由が生じたとき
- ④ 店舗の改築、閉鎖その他相当の事由があるとき
- ⑤ 借主または代理人がこの規定に違反したとき
- ⑥ 借主名義人が存在しないことが明らかになったときまたは借主名義人の意思によらず契約、使用されたことが明らかになったとき
- ⑦ 本邦または外国の法令・規制や公序良俗に反する行為に利用され、またはそのおそれがあると認められるとき
- ⑧ 法令で定める本人確認等における確認事項や前項2. に定める利用目的の申出内容に偽りがあるとき
- ⑨ マネー・ローンダリング、テロ資金供与、不正な目的で利用され、またはそのおそれがあると当組合が認め、マネー・ローンダリング等防止の観点で解約が必要と当組合が判断したとき

(3) 前記14. (2) のほか、次の各号の一つにでも該当し、借主との取引を継続することが不適切である場合には、当組合はこの貸金庫の利用を停止し、または借主に通知することによりこの契約を解約することができるものとします。

この場合、当組合から解約の通知があったときは、ただちに前記14. (1) と同様の手続きをしたうえ貸金庫を明渡してください。

なお、この解約によって生じた損害については、当組合は責任を負いません。

また、この解約により当組合に損害が生じたときは、その損害額を支払ってください。

- ① 借主が貸金庫使用申込時にした表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合
- ② 借主または代理人が、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標榜ゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下これらを「暴力団員等」といいます。）に該当し、または次のいずれかに該当することが判明した場合
 - ア 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること
 - イ 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - ウ 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること
 - エ 暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
 - オ 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること
- ③ 借主または代理人が、自らまたは第三者を利用して次のいずれか一つにでも該当する行為をした場合
 - ア 暴力的な要求行為
 - イ 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - ウ 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
 - エ 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて当組合の信用を毀損し、または当組合の業務を妨害する行為
 - オ その他アからエに準ずる行為

(4) 前記14. (3) の明渡しが遅延したときは、遅延損害金として解約日または契約期間の満了日の属する月の翌月から明渡しの日の属する月までの使用料相当額を月割計算により支払ってください。この場合、前記4. (3) に基づく返戻金は、遅延損害金に充当します。不足額が生じたときはただちに支払ってください。

なお、当組合はこの不足額を明渡しの日以前記3. (1) の方法に準じて自動引落しすることができるものとします。

(5) 前記14. (1) から(3) の明渡しが3ヵ月以上遅延したときは、当組合は副鍵（全自動貸金庫の場合はカードと副鍵）を使用して貸金庫を開函のうえ、格納品を別途管理しもしくは一般に適当と認められる方法、時期、価格等により処分し、また処分が困難な場合には廃棄することができるものとします。

なお、当組合は貸金庫の開函に際して公証人等に立会いを求めることができます。これらに要する費用は借主の負担とします。

(6) 使用料、遅延損害金その他借主が負担すべき費用が支払われないときは、前記14. (5) の処分代金をこれに充当することができるものとします。この場合、不足額が生じたときは、当組合からの請求がありがたい支払ってください。

15. (貸金庫の修繕、移転等)

貸金庫の修繕または移転その他やむをえない事情により当組合が格納品の一時引取りまたは貸金庫の変更を求めたときは、ただちにこれに応じてください。

16. (緊急措置)

法令の定めるところにより貸金庫の開函を求められたとき、または店舗の火災、格納品の異変等緊急を要するときは、当組合は副鍵を使用して貸金庫を開函し臨機の処置をすることができるものとします。このため生じた損害については当組合は責任を負いません。

17. (譲渡、転貸等の禁止)

貸金庫の使用権は譲渡、転貸または質入れすることはできません。

18. (保証人)

保証人は、この契約から生ずるすべての債務について借主と連帯して履行の責めに任ずるものとします。この契約が継続された場合も同様とします。

19. (規定の変更)

(1) この規定の各条項その他の条件は、金融情勢の状況の変化その他相当の事由があると認められる場合には、当組合ホームページへの掲載による公表その他相当の方法で周知することにより、変更できるものとします。

(2) 前項の変更は、公表等の際に定める適用開始日から適用されるものとします。

以上

令和8年8月31日改正